

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



真理の言葉で心を浄め、よろこびの光明生活を実践しよう!!

《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

人生は魂の学校である

どんな苦勞があつても、因縁によつて世話させて頂いていると思えば有り難いばかりの一筋^{ひとすじ}である。人間は他のために苦勞をさせられているのではなく、自分の魂を高め上げ、浄め上げるための修行として苦勞を恵まれているのである。

学校は先生のために勉強するのではなく、生徒自身の向上のために勉強するのである。人生は魂の勉強する学校である。苦勞は教科書であり、苦勞させて下さる人は皆自分の先生である。吾々は苦勞させて下さる人に感謝して拝まねばならない。

これが解つたら世の中に有り難くないものはないのである。これが解つたら人生は幸福なばかりである。豚なら幸福とは快樂のことだと思つていられるかも知れぬが、本当の人間は苦勞の中に喜べるものである。

(新編『生命の實相』第14巻 観行篇)

(見出しは編集部)



人類の聖典『生命の實相』

発刊90周年!

谷口雅春先生への報恩感謝の思いを新たに、全巻拝読に取り組みましょう!!

“今”が生まれ変わりの時!

第一回谷口雅春先生報恩 全国練成会^くにおいて、ゲスト講師の高倉俊治先生がご紹介下さいました山梨県のK子さんの体験を皆様に紹介します。K子さんの家は桃の栽培農家でしたが、何年続きかの不作で二千万円ほどの借金を抱えて二進も三進もいかなかった。お母さんと姑さんの折り合いも悪く、お父さんはアル中。行きたかった大学にも行けなかった。そんな時、ポストに入っていた『白鳩』誌で生長の家に導かれることになったのです。

高倉先生が北海道へ転任されることになり、彼女の最後の青年誌友会に出講し、幸福発見ゲーム(幸福たぐう)をおこなったとき、K子さんは四十いくつも書いたというのです。厳しい環境にありながら、幸福を一つ一つ数えて感謝する生活を送る中でK子さんは、輝くような魅力的な女性となつて白鳩会支部長の息子さんに見初められて結婚し、幸せな家庭を築いておられるという内容です。

聖經『続真理の吟唱』の「新たに靈的に生まれるための祈り」に、次の一節があります。

「われわれの住んでいる世界は唯心所現の世界なのである。：それ故に現在わたしたちが体験している状態が不完全であるならば、：自分の心を浄化し、一層善き事のみ、一層積極的なることのみを心に想うようにし、：すべての人々から信頼され悦ばれるような深切丁寧な心をもって人に接し、事に処すように心懸けなければならぬのである。」

これを今すぐ実行することが幸福の秘訣であるとして、続けて次のように示されています。

「“今”が時なのである。機会は毎日の中にあるのである。明日からやろう。“一週間後から始めよう。”来年の正月から生まれ変わるう”などと実行を次にのぼしているような事では、永遠に、あなた自身の“心”を改善することが出来ず、：過去の低い状態の生活を情力で繰り返しているに過ぎなくなるのである。」

“今”が生まれ変わりの時! 聖典『生命の實相』を毎日拝読し、真理の言葉で心を浄め、よろこびと感謝の光明生活を実践しましょう。

ご先祖様のみまもりに感謝し 孟蘭盆には多くの霊牌を供養しましょう

先祖供養の本義は報恩感謝である

『生命の真相』生命篇（新編第5巻、頭注版第3巻）に、結核を患い医師から中絶を勧められた妊婦の相談の手紙に、谷口雅春先生が書面でご指導になることにより、病が癒やされた実例が紹介され、愛の念波は手紙を媒体としても相手に届く、と書かれています。

愛の念波、それは生きている人だけではなく、亡くなった人にも届くのです。私たちが真理の言葉の供養（真理供養）を実践することによって祖先の霊は霊力を増し、子孫を守ってくれるようになりますと、谷口雅春先生は次のようにお説き下さっています。

「祖先の靈魂というものは、物質の食物を食べて発達するものではないのであって、真理の言葉を念によって放送されると、真理の念を吸収して、霊界に於て神通力を得るようになるのであります。すなわち靈魂の霊力が殖えるのです。これを『魂のふゆ』というのです。（中略）祖先が自己の神通力を増加してきましたら、祖先というものは、子孫を守って、子孫を繁栄させてやりたい、子孫を健康にしてやりたい、というのが其の念願なのですから、祖先に神通力がふえるようにさえしてあげたら、祖先の守りが多くなり、凡ゆる点に於いて子孫が護られ、自然に病氣も治るようになるのであります」（『生長の家』昭和36年7月号。歴史の物語（一））

しかし、谷口雅春先生は、「先祖供養（真理供養）の本義は、病氣を治したいとかお蔭欲しさに行うものではなく、「ただ尊敬と感謝の念をもって、「今ま

で色々と子孫が受けて来た密れたる御恩、陽なる御恩に対して唯感謝のためにこの真理の御経を霊界に対して放送しますから、どうぞお受取り下さいませ」と誦えて、「ただ感謝」の念をもって誦読するがよい」（『人生を支配する先祖供養』）とお諭し下さっています。

先祖供養の具体的実践

その先祖供養のあり方について、谷口雅春先生は、次の四つをお示し下さっています。

一、日々の聖經『甘露の法雨』による真理供養

自宅の「仏壇」や「実相額」、あるいは清浄な場所の前で、ご先祖の供養の為に聖經『甘露の法雨』を日々誦読する供養です。（お時間のない方は、聖經『天使の言葉』に収録されている「久遠生命」の神示の誦読を行ってください）

二、祥月命日等の供養

大切な人の祥月命日や月命日には聖經『甘露の法雨』に併せて『顕浄土成仏経』を誦読します。このお経は谷口雅春先生が御母堂様の追善法要に於て献げられたもので、信徒も法要の時に読むようにと勧められています。

三、霊牌供養

「霊牌」という指定の紙に先祖や大切な故人の名前を書き、毎月の誌友会や「生長の家社会事業団」「谷口雅春先生を学ぶ会」等で行なわれる先祖供養祭に提出し、招霊供養してもらおう供養です。

四、永代供養（谷口雅春先生を学ぶ会受付）

とりわけご恩のある父母や伴侶、あ

るいは兄弟親族は永代供養に申し込めます。永代供養では、特別に奉製された白色の聖經『甘露の法雨』『天使の言葉』を御霊代として招霊し永代にお祀りする供養です。

孟蘭盆は供養もれないように
まもなく孟蘭盆です。まごころを込めた霊牌で、ご先祖様に感謝の誠を捧げましょう。

物故者顕彰慰霊・先祖供養祭の日程

7月24日（日）午前11時〜（全国練成道場）
※今年の「霊牌浄火のみ祭り」（8月19日・大年神社）に出される霊牌は、7月23日までに着くようお送りください。
8月28日（日）午前11時〜（全国練成道場）
※来年の「霊牌浄火のみ祭り」まで一年間毎日、聖經『甘露の法雨』で丁寧な供養を行います。

自己処罰の心を浄めて頂いた 感謝の先祖供養

千葉県 鈴木和子（仮名）72歳

私は兼業農家に嫁ぎ、子供は長女、長男、次男と授かりましたが、令和二年秋、長男は肝硬変のため四十歳の若さで他界いたしました。生長の家のみ教えにふれていたのでありましたが、長男の昇天には懺悔の気持ちのみが強く残り、しばらくは自己処罰の辛い日々が続きました。

しかし、谷口雅春先生の聖經の一句一句をかみしめながら誦読を続けるうちに、『天使の言葉』の『久遠生命』の神示の一節、「家族の誰かに病気が起ったと云っては信仰を失うが如きは、神を信じているのではなく物を信じているのである」とのお言葉に、「ああ、私はこれまで努力の母親としての魂であったけれど、長男として誕生してくれた息子は、私に最高のもの、人間として神同様の最高の愛を与えて下さったの

「霊牌浄火のみ祭り」でみたま様は更に浄められる



島根県大年神社における霊牌焼納の様子



だ。これからが私のほんとうの魂向上的機会であり、愛の母親としての魂へと導いて下さっているのだ」との思いが湧き上がってきたのです。そして真心込めて長男の供養、ご先祖様への感謝の供養をさせていたたく中で、人間は神の子であり、私も神の子であるとの真理の光を見出すことができました。その時の喜び、幸せ感言葉では言いあらわすことができないほど、わが全身に清き流れが浸透いたしました。そこに至るまでの道のりは簡単ではありませんでしたが、自己処罰の念から脱皮することができました。自分自身がここまで生かされてきたこと、そして生かされている今を思うと、ご先祖様に心から感謝をいたすと共に、日々の安泰を護って下さる神様と一体である自分に真に目覚め、感謝の大切さを強く実感しました。生長の家の信仰を続けてきて本当によかったですと思います。

人類の聖典『生命の實相』全巻を拝読し、 聖經『甘露の法雨』の携帯・読誦を實踐しよう!!

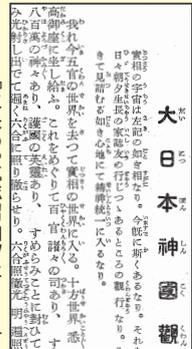
秘話―「大日本神国観」はこうして護られた!!

「大日本神国観」の由来と占領軍の弾圧

神想観は、尊師谷口雅春先生が住吉大神より直接授けられた行法ですが、その中でも、「大日本神国観」は宇宙の大生命と天皇国日本の神聖な実相と自己の生命とが一体であることを観じ礼拝する最終段階の神想観であり、全ての神想観を完成すると教えられています。

この「大日本神国観」は昭和16年1月号の『生長の家』誌6日の法語で、祈りの核心的言葉を発表され、全国の信徒に新年より一斉に行ずるよう薦められ、さらに翌年4月号の同誌で、「大日本神国観」の名称が発表されたものです。

ところが、大東亜戦争後、連合国占領軍総司令部（GHQ）は日本弱体化政策を推し進め、谷口雅春先生に国家再建の言論を発表することを禁止する「執筆追放」の弾圧を下しました。その結果「大日本神国観」の発表も実行も不能状態となっていたのです。



『生長の家』誌昭和17年4月号に発表された「大日本神国観」

革命の危機と「大日本神国観」の復活

昭和41年、時あたかも左翼全学連が全国の大学を日本革命の砦とするため一斉に学園紛争を引き起こしていた時代でしたが、本部の神癒祈願部長に就任した有留弘泰講師は、これまでの個人等の救いの祈願とともに、日本並びに世界各国、更には宇宙に対する神癒祈願のために「大日本神国観」の復活を嘆願する手紙を谷口雅春先生に出されます。



有留弘泰講師

この熱誠溢れる手紙をご覧になった尊師は、同年3月号の『生長の家』誌「明窓浄机」欄に有留講師の手紙と「大日本神国観」の全文を発表されたのです。

そして同年5月1日、尊師は正式に「大日本神国観」を刊行されるとともに深い神慮に基づきその著作権の全部を生長の家社会事業団に託されました。（昭和63年、国の著作権登録原簿に登録）

この「大日本神国観」著作権ご譲渡の日に、奇しくも生長の家学生会全国総連合（生学連）が結成され、生学連の同志達は、革命の危機から祖国を救い再建する学園正常化に持ち上がるようになったのです。

ところが平成21年、谷口雅宣総裁の現教団と日本教文社は、「大日本神国観」等が収録された「一切経」の発行差止めを要求する訴訟を起こし、更にその後、現教団は総本山練成会や各地の練成会等で「大日本神国観」の実修を事実廃止しました。

教団による「大日本神国観」の実質廃止と、私達の正統継承のたたかい

これに対し生長の家社会事業団は全力をあげて対応、最高裁判所においてこの訴訟の完全勝訴を勝ち取るとともに、全国で開催した「生長の家教義研修講座」等において「大日本神国観」を厳修し、その正統な継承のために邁進しております。

（「大日本神国観」厳修の会場では奇蹟的な救いの体験や護国の英霊の霊光と思われる奇瑞が生じています。下の写真は、「生長の家教義研修講座」における「大日本神国観」実修中に撮影したものです。）



高級霊の軌線が写る「大日本神国観」中の写真（平成29年11月26日・香川会場）



生学連結成（生長の家51周年より引用）

『生命の實相』と私（第9回）

人生の転機に「勝利の看板」を掲げて

福岡県 井野口武志（48歳）

私は大学時代にみ教えにふれ、ともに活動していた家内と結婚。三人の子供にも恵まれ幸せな毎日でしたが、変質していく教団から足が遠のいていきました。転機となったのは8年前、長男が中学二年生の時でした。部活動で先生と喧嘩して不登校になり、学校に行こうとすると体調を崩す、いわゆる「ひきこもり」になりました。病院で「アスペルガー症候群」と診断され、「生まれつき人と関わるのが苦手なので社会生活は難しいかもしれない」と言われました。そうこうしているうちに小学五年生の長女も不登校になってしまいました。

ちょうどその頃、友人から害虫駆除の仕事をやってみないかと誘われました。当時ホームセンターで働いていました。自営業であれば子供たちの面倒も見ることができません。しかし、人生を変える決断であり、大きな転機である反面、失敗するかもしれないと一月ほど悶々と悩みました。

そんなとき『生命の實相』生活篇の「背水の陣を布け」の御文章が目にとまりました。「最初より「勝利」の看板を造って掲げよ。そのほかの事は決してあり得ないと信ぜよ」「必要な力はすべて時に応じて神が与えて下さるのである」。私は思い切って退職し害虫駆除の会社を起業しました。最初は深夜にアルバイトをしながら苦勞しましたが、この御文章に支えられました。会社の業績も上がり今年で8年目になります。転職したことで子供の世話に時間が割けるようになり、学ぶ会の九州練成会には長男と参加し、青少年練成会には子供三人と私たち夫婦はお手伝いとして参加させていただきました。

子供たちも落ち着き、二人とも福岡市の定時制高校に元気に通ってくれ、長男は短大を卒業してIT関連の会社に就職。長女はダンス講師や動画制作の仕事など不登校児をサポートする活動を模索しています。

子供の不登校や転職を機に、遠のいていたみ教えに再びふれることが出来ました。導いてくださった先輩方や諸先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

生長の家のみ教えを正しく護り
伝えるために!!

1口 33万円の特別献資に
ご協力ください!! (分割も可)

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ① 聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ② 谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③ 「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④ 「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤ 「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から76年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなすとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

(同封のご寄付の申込用紙をご参照ください)
これまでご献資下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただきます。深甚の感謝を捧げさせていただきます。

五つの事業を支える奉讀者566名御芳名

これまでご献資下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただきます。深甚の感謝を捧げさせていただきます。

◎ 「神癒・聖經供養」祈願にお申し込みを!

問題解決、神癒の体験続々と

顔の相が良くなりました! (入会者喜びの声)

聖使命奉讃会に入会して感じましたことは、兄と甥の顔の相がとても良くなって、明るさも増したことです。目に見えない何かを頂いているのではと思われまます。入会して本当に良かったです。ありがとうございます。(70代女性)

◎ 「聖使命奉讃会」(月額一口千円)にご入会ください。

神様の祝福に満ちた幸福人生を招く

読者の皆さまからの「喜びの声」

★素晴らしい機関紙をいつもありがとうございます。誌友会用に15部ほどお送り下さいませんか。

「シリーズ解体」はどうしても皆さんにお知らせしないといけない内容ばかりで、この度は住吉大神様の事を詳しく書いて下さり感謝です。天之御中主神との関係もわかりやすく書かれてあり誌友会で使わせて頂きます。

霊牌供養の「先祖代々の霊牌」と「個別の霊牌」についても質疑応答の形で示されていて、説明がとてもしやすくなります。

安東巖先生は大変な人気で、ご講話筆記は皆さんすごく喜ばれます。(広島県・島上直子)

★いつも事業団様から送られてくる機関紙を楽しみにしております。内容が充実しており、講師の方々のご講話に学び、体験談に励まされ、心も明るくなります。心の糧でございます。

私は以前から、年金が支給されるようになったら献資をと心に決めておりました。70歳になりやっと念願が叶いました。特別献資をさせて頂きまますこと唯々感謝でございます。

事業団様の更なる活躍をお祈り申し上げます。(福岡県・渡辺敬子)

感想をお寄せください!!

「躍進する生長の家社会事業団」をお読みいただいた感想を、FAX又は右のQRコードでお寄せください。

FAX: 042-843-0076



7月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(金)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
7(木)	萬教包容の神示祭	11時~	社殿
22(金)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館
24(日)	物故者 顕彰祭 先祖供養祭	11時~	道場

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

8月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(月)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
5(金)	本當の信仰に就いての神示祭	11時~	社殿
12(金)	懺悔の神示祭	11時~	社殿
22(月)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館
28(日)	物故者 顕彰祭 先祖供養祭	11時~	道場

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

◆「神癒・聖經供養」毎朝9時~10時30分
谷口雅春先生報恩全国練成道場において行っています。自由にご参加ください。

◆“全国練成道場講師陣”による個人指導
お悩みや心配事がある方は、気軽にお申し込みください。(遠方や急ぐ方は電話でも)

◆図書資料館定期一般開館日のお知らせ
7月7日・21日、8月4日・18日
午前11時~午後3時(原則第1・3木曜日)

◆『生命の實相』輪読会(毎月22日図書資料館)
7月・8月は新編第13・14巻(頭注版第7・8巻)の生活篇・観行篇です。